



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成25年03月18日 第605号「週刊五十嵐レポート」

## 工場視察

私の兄は製造業の工場専門の経営コンサルタント会社のコンサルタント(以前トステムの生産管理を担当)。先日、私のお手伝いをしている会社の(問題のある)食品加工工場を視察してもらいました。

「ざっと見させていただきましたが、ざっくり10人ほど減らせると思います。今、3人で行なっている作業は1人でできるはずです。

生産管理とは、計画と統制です。具体的な方針の展開です。計画を立て、品質と納期と価格を守る。いわゆるPDCA。ほとんどの会社はPとDはできます。しかしCとAができないのです。CとAが統制になるのです。

基本は朝礼からはじまります。朝礼はコミュニケーションを良くします。また今日の目標を決めて、周知徹底させます。目標が立てばその段取りが決まっていきます。

ゴミ箱を各工程ごとに置いていきます。どの工程にゴミ(不良品・ロス)が多いのか、チェックします。そしてその根元を調べて改善していきます。一つ一つ潰していきます。ゴミ箱の中は改善の宝なのです。

クレームの内容を見てみると工程と工程の節目にやらなければならないことをやっていないために起こるものです。最後で処理するのではなく、出た所で処理することです。

通路にトレイが多く、通路が狭くなっています。今日1日、どれをどのくらい作るか、それにはトレイはいくつ必要は考える必要があります。そうとう不必要なトレイが並んでいると思います。『整理』『整頓』です」

この会社はリストラはしません。余ったら他の部署に配置転換をしていきます。工場内の改善は、やはり基本を忠実に行なうことです。「朝礼」「挨拶」「整理」「掃除」「整頓」。

言葉は悪いですが、放漫経営、放任経営ほど当たり前前の事を当たり前前にやっていくと会社は立ち直っていきます。

ちょっと  
気になる出来事

兄の工場専門のコンサルタント会社に大手家電メーカーの工場長をやっていた人が転職に来るそうです。しかし採用は厳しいようです。

大手家電メーカーの「肩書」がなくなったときに、工場運営の方法を行うことができるのか。実際は優秀な部下がいたからできたという例が多い。なかなかコンサルタントになれる人は少ないといえます。

同じような例で、銀行の支店長が中小企業で仕事ができるか、ということあまりできないという話を聞きます。多くの業務を部下にやらせているため、自分でFAXをすることもできないと。

「肩書」がなくなったとき、自分は何ができるか。

ビジネスマンとしての永遠のテーマです。



一口メモ  
成功の秘訣

## 利益をどう考える?

事業の目標として利益だけを強調することは、幹部たちを誤らせ、ついに事業の存続を危うくすることにもなる。利益だけを強調すると、幹部たちは往々にして目の利益のみに意を用いて、事業の将来を無視する。たとえば、現在苦勞なしに売れる製品ばかりに力を入れて、将来の市場に対する配慮を怠り、新製品の研究や開発、その他先に延ばせる投資に対して目をつぶって、なおざりにしやすい。ことに、利益に影響の大きい固定資産への投資を歓迎しない。このために設備や危険なほどに老朽化してしまう。かくて、利益のみを強調することから、最も拙劣な事業経営が生まれてくるのである。

(「現代の経営」)

## ドラッカー経営名言集より

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 月刊五十嵐レポートダイジェスト  
町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。  
町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催  
㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

